

大井小だより

亀岡市立大井小学校



令和4年

1月7日発行

○ホームページ <https://www.el.city.kameoka.kyoto.jp/ohi/>

○電話 0771-22-3202 ○FAX 0771-25-7172

「締めくくりへ ～ finish up を目指して～」

丹波の山々には、大晦日から続いた雪が降り積り、2022年は、真っ白な銀世界の中での年明けとなりました。新型コロナウイルス感染症の広がり、引き続き心配な状況が続く中ですが、少しでも明るく前を向いた思いの中で本年が進んでいくよう、大きな期待を持ちながら新たな年の幕開けを迎えました。

さて、いよいよ1年の締めくくりの3学期が今日から始まりました。「締めくくる」という言葉を調べていくと英語での表現や用例として様々なものが示されていました。単純に「終わる」といったニュアンスの英語としても、例えば「end」「close」「finish」等々、あまり英語の得意でない私でもわかる幾種類かの表現があります。それぞれ

「end」：行動、物事が単純に終わる

「close」：閉じる、終業するという意味の終わる

「finish」：何かの行動を達成して終える

といった説明がなされていました。学校という学びの場においては、「end」や「close」といった「終わり」ではなく、やはり「finish」という「達成の終わり」を目指したい、そんな思いをいつも持ち続けています。それは、「達成」を目指すことが、「次につながる終わり」を生み出すはずだからです。成長に終わりはありません。常に「次につながる何か」を大切にしていって進んでいくことが重要です。

そこにさらに「up」という言葉がつくことで、それらは、さらに「まとめる」「仕上げる」といったニュアンスがつくようです。ならば3学期は、「end」や「close」よりも「end up」「close up」、そしてぜひ、「finish up」を目指したいものです。もちろん、いつも全てがうまくいくとは限りません。「finish」や「finish up」を目指していても、「達成して終える」とは、限りません。しかし、自身の心の中でそうした思いを持って取り組むことで（例え、達成できなくても）今の自分を一歩前に進める「プラスワン」の成長がきっと叶えられるはずです。

そのために大切になってくることがあります。それは、「振り返る」ということです。「がむしゃら」に、「無我夢中」に頑張ることも素晴らしいことです。でも、今の自分が、今この時点でどこまで頑張っているのか、どこまでできているのか、自分自身でしっかり確認する作業はとても大切です。1学期や2学期にがんばろうと思っていたことは、何なのか、そして、それがどこまでできていて、あとどこが足りないのか、しっかりこの時点で見つけ、気づくこと、そして、その部分にしっかり集中した取り組みを進めることが、「finish up」に向けて大きな力を発揮するはずです。

3学期は、いつものことながら、きっとあっという間に過ぎてしまうと思います。この1年の自分自身に気付き、より良い1年の「締めくくり」となるよう、そして、進級・進学に向けて、大切な時間となるよう子ども達と頑張っていきましょう。ぜひ、各ご家庭でのお声かけ、支援についてよろしくお願いします。

亀岡市立大井小学校 校長 原田 勝之

1月の予定

11日(火)	短縮4校時、二測定(①大井、②4年、③3年、④1年)
12日(水)	給食開始
19日(水)	書き初め展(～21日)
24日(月)	CRT学力テスト(国語)
25日(火)	CRT学力テスト(算数)
31日(水)	クラブ(3年生クラブ見学)

※フッ化物洗口
1月13日
20日
27日